

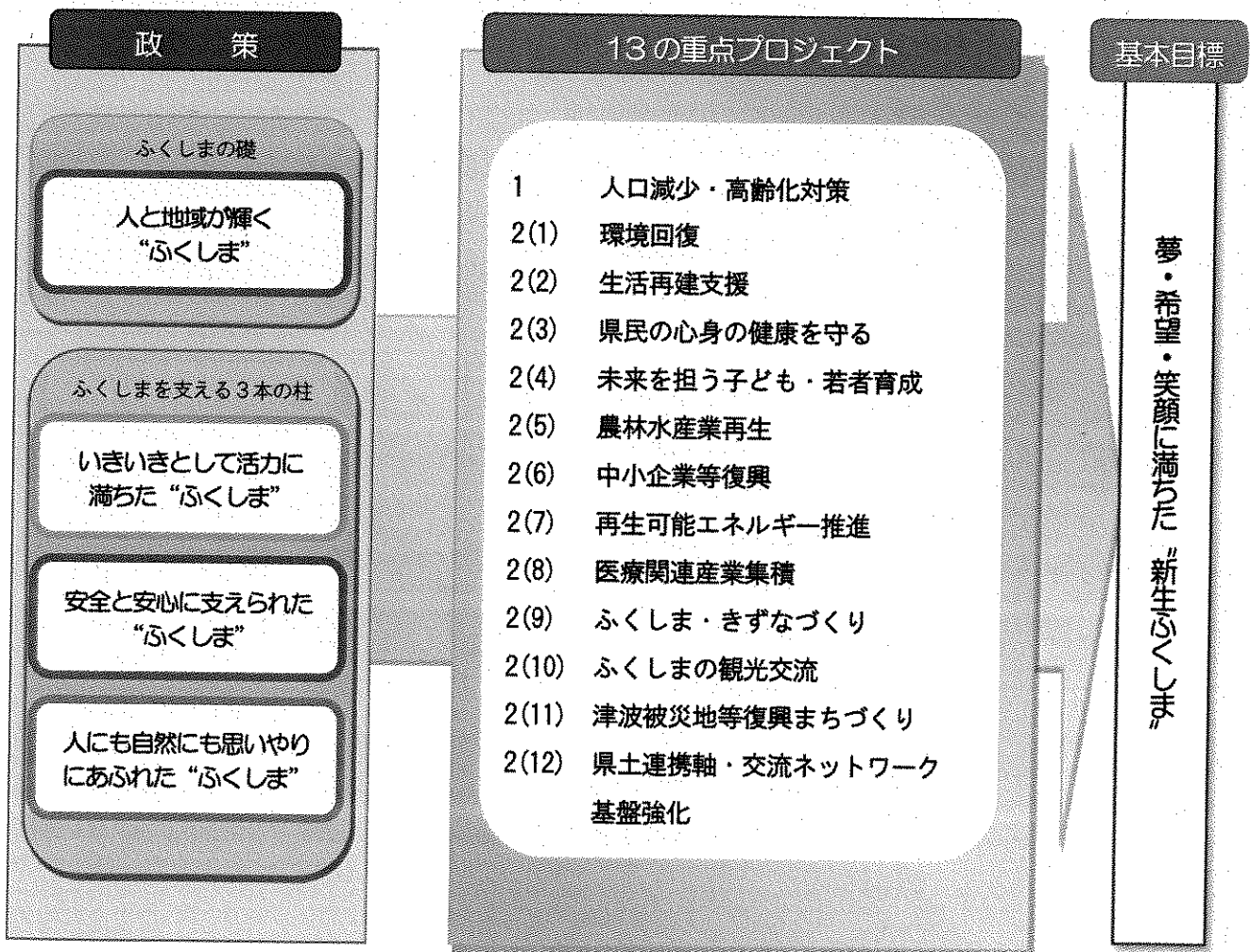
子ども・子育て支援関連の来年度の県の主要施策について

平成26年度重点事業について

「福島県総合計画 ふくしま新生プラン」の中で、県づくりを進めていくための礎及び3本の柱に基づく政策のうち、東日本大震災・原子力災害からの復興・再生の視点により特に取り組むべき課題に対応したものを13の重点プロジェクトとして整理し、重点的に事業を実施していくこととしております。

平成26年度は、総合計画の基本目標に掲げる「夢・希望・笑顔に満ちた“新生ふくしま”」の実現に向けて、人口減少や高齢化の影響の軽減を図るための取組、被災者の生活再建を図るための取組、風評対策の取組、医療・再エネ関連産業の拠点整備を契機とした産業化の取組、ふるさと帰還の環境づくりの取組などの事業を展開してまいります。

総合計画の推進（概念図）



2（4）未来を担う子ども・若者育成プロジェクト

子どもや親たちが安心して生活ができ、子育てがしたいと思えるような環境を整備するなど、子どもたちが心豊かにたくましく育つことができる取組を進める。

（単位：千円）

①日本一安心して子どもを生み、育てやすい環境づくり

新1 私立幼稚園心と体いきいき事業（総務部 私学・法人課） 43,500

園児の体力向上や肥満防止等を目的としたプログラムを計画的に実践する私立幼稚園に対し、その経費を助成する。

2 子どもの医療費助成事業（保健福祉部 児童家庭課） 4,609,739

安心して子どもを生み育てられる環境を整備するため、市町村が行う子ども医療費助成に対して補助を行う。

新3 被災した子どもの健康・生活対策等総合支援事業（保健福祉部 子育て支援課） 165,417

避難の長期化等に伴う新たな課題に対応するため、仮設住宅に住んでいる子どもが安心して過ごすことができる環境づくり、子育て世帯に対して心身の健康に関する相談・支援を行う新たな訪問事業を行う。

新4 ふくしまからはじめよう。豊かな遊び創造事業（保健福祉部 子育て支援課） 417,921

身近なところでの屋内遊び場整備を支援するとともに、子どもが野外空間で創造的な遊びを行うことができる冒険ひろば実施団体を支援し、併せて子ども・子育て支援関係者の研修を行うことにより、子どもの健やかな発育や体力向上に寄与する。

新5 子ども・子育て支援制度移行推進事業（保健福祉部 子育て支援課） 187,359

幼保一体化の推進、保育の量的拡大や幼児教育・保育の質的向上等を図る「子ども・子育て支援新制度」の本格施行が平成27年度に予定されていることを踏まえ、スムーズな移行ができるように市町村や各児童関連施設等を支援する。

新6 ふくしま保育元気アップ緊急支援事業（保健福祉部 子育て支援課） 961,213

東日本大震災の影響により、県内の保育所では、屋外遊びの制限、保護者の健康不安への対応や児童ごとの個別対応などを行っており、厳しい状況に置かれている。このため、相談支援者育成研修を行うとともに、各保育所等の子どもの運動量確保や自然触れ合い体験の充実、地域コミュニティ再生の取組を支援する。

**新7 ふくしまからはじめよう。元気なふくしまっ子食環境整備事業
（保健福祉部 健康増進課、農林水産部 環境保全農業課、教育庁 健康教育課） 29,965**

食育の観点から、東日本大震災後の子どもたちの新たな健康課題に対応するため、家庭・学校・地域が一体となった食育推進体系を再構築し、「元気なふくしまっ子」が育つ食環境整備を進める。

新8 地域でつながる家庭教育応援事業（教育庁 社会教育課） 6,107

「親の学び」を支援するために、PTAと連携し、親自身が学ぶ機会が充実するよう支援する。また、学習プログラムを作成し、家庭教育支援者をリードする人材を育成するとともに、企業と連携して地域の家庭教育推進を働きかける。

新9 子どもの本がたたくスマイルプロジェクト（教育庁 社会教育課） 1,939

震災で被災して心が傷ついている子どもたちや親たちに、本とのふれあいを通して心を癒やしてもらうため、読み聞かせなどを行うフェスティバルを開催する。また、読書ボランティアの活動も推進しながら、本を通じて子どもたちや親たちの心の復興を図る。

新10 ふくしまっ子自然体験・交流活動支援事業（教育庁 社会教育課） 1,008,945

震災の経験を踏まえ、再発見した郷土の良さを伝え合い発信していくような交流活動を行うとともに、充実した自然体験活動を行う機会を提供し、豊かな人間性と生きる力の育成を図る。

②生き抜く力を育む人づくり**新1 ふくしまから 世界へ！「ふくしま夢アスリート」育成支援事業（文化スポーツ局 スポーツ課） 24,949**

将来の活躍が期待される15歳から20歳の青少年を「ふくしま夢アスリート」として指定し、JOCや中央競技団体等の強化練習会などへの参加支援や指導者のスキルを国際的レベルにまで引き上げることで、世界に通用する選手を育成する。

2 ふくしまから はじめよう。若者ふるさと再生支援事業（生活環境部 青少年・男女共生課） 9,457

「ふくしまの復興」をテーマに高校生ワークショップを開催し、高校生が復興に向けた取組のアイデアを話し合い自ら実践することで、若者自身の自立性や社会参画の意識を高めるとともに、若者が中心となった本県復興の加速化を図る。

新3 土砂災害防災教育事業（土木部 砂防課） 3,000

土砂災害による人的被害の軽減と防災意識の高い人材の育成を図る目的で実施してきた出前講座の効果を高めるため、土砂災害の現象と対策の模型を製作し、活用する。

新4 ふくしまから はじめよう。子ども未来創造まちづくり事業（土木部 まちづくり推進課） 14,200

高校生等が地域に愛着を持ち、将来にわたり継続的に本県復興の担い手になることを目的とし、地域の宝の発見やまちづくりについて考えるワークショップやフォーラムを実施する。

新5 子どもの夢をはぐくむ読書活動推進事業（教育庁 社会教育課） 4,138

各地域で活躍できる子どもの読書活動に関わるボランティアの育成や、専門的な研修による経験者のスキルアップを行う。また、第3次の福島県子ども読書活動推進計画作成のための作成委員会を立ち上げ、新たな読書推進に向けた検討を行う。

新6 学校・家庭・地域連携サポート事業（教育庁 社会教育課） 942

「学校支援実践研修会」及び「コーディネーター養成研修会」を実施し、学校、家庭、地域が連携協力した地域全体で子どもを育む体制づくりと、震災後の環境の変化に対応した支援を行い、教育環境の復興に資する。

新7 ふくしまからはじめよう。学力向上のための「つなぐ教育」推進事業（教育庁 義務教育課） 12,698

児童生徒の学力向上及び学習習慣、生活習慣の確立を図るため、県内7地域において、自校の課題を明確にして、学校と学校及び学校と地域や保護者との結びつきを強め、連携を図った取組を推進する。

新8 「生き抜く力」を育む防災教育推進事業（教育庁 義務教育課） 4,869

児童生徒が自然環境、災害や防災について正しい知識を身に付け、災害発生時における危険を理解するとともに、状況に応じた的確な判断力の育成や、災害発生時及び事後に地域の安全に役立とうとする態度及び能力を育成する。

新9 双葉郡中高一貫校設置事業（教育庁 高校教育課） 4,202

広野町に設置する予定の中高一貫校の開設に向け、いわき市内に開設準備の現地事務室を設置する。

新10 ふくしま高校生進路実現サポート事業（教育庁 高校教育課） 25,183

高等学校の進路指導の取組を推進・支援することにより、生徒の学力向上を図り将来への展望を抱かせるとともに、地域に貢献できる人材や社会においてリーダーシップを発揮できる人材を育成する。

11 高校・大学等奨学資金貸付事業（教育庁 高校教育課） 662,022

能力があるにもかかわらず、経済的理由により修学困難と認められる高校・大学等に在学する者に対して奨学資金の貸与を行う。

また、大学等へ入学予定の者に対して入学一時金の貸与を行う。

新12 平成29年度南東北インターハイ開催事業（教育庁 健康教育課） 43,222

平成29年度に南東北3県で開催されるインターハイに向けて、戦略的に本県選手の強化等を行うとともに、県外から強豪校等を招聘し地元高校生との交流等を通して福島県の復興を県内外にPRする。

③ふくしまの将来の産業を担う人づくり**1 キャリア教育推進事業（教育庁 高校教育課、特別教育支援課） 15,528**

地域に定着し、地域産業を担う人づくりを推進するため、農業高等学校、工業高等学校、商業高等学校及び特別支援学校において、地域の人材や関係機関と連携しながら地域に根ざした実践的学習の充実を図るとともに、地元の小・中学校と連携したキャリア教育を展開する。

（再掲）成長産業等人材育成事業（商工労働部 産業人材育成課） 10,403

本県産業の復興に向けて、ふくしまの将来を支える成長産業である再生可能エネルギー及び医療機器産業を担う人材をテクノアカデミーにおいて育成する。

H26当初 主要事業：重点事業（重点プロジェクト推進のための事業）

	事業数	事業費（千円）
本資料に掲載した事業	24	8,266,918
その他の事業	51	23,351,782
合計	75	31,618,700

※事業数及び事業費とも再掲事業を含む